

# Quarterly Report

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

広報・IR部 〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7  
TEL: 03-6202-5270(代表)  
www.ms-ad-hd.com

立ちどまらない保険。

**MS&AD**  
INSURANCE GROUP

2012年4月25日

2011年度第4四半期(1月~3月)のトピックスをご案内します。

## 1. 2012年1~3月の三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の営業概況(単純合算)

\*速報ベース、傷害・一般計には長期医療を含む

第4四半期は、主力の自動車保険が引き続き好調であり、一般計で5.4%、年度累計でも前年比3.5%の増収となりました。

(金額単位:百万円)

種目名	第4四半期(1~3月)		年度累計(4~3月)	
	収入保険料	増収率	収入保険料	増収率
自動車	294,237	3.2%	1,191,507	1.7%
自賠責	86,803	13.7%	310,899	11.2%
火災	101,800	9.3%	401,277	6.3%
傷害	51,066	1.2%	209,277	3.6%
新種	66,525	5.0%	292,624	0.5%
海上	22,059	0.2%	98,060	0.3%
一般計	622,488	5.4%	2,503,645	3.5%

## 2. 主なニュースリリース(2012年1月~3月) カッコ内はニュースリリースの日付

### (1) MS&ADホールディングス

#### コンタクトセンターのシステム統合について(2月23日)

三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保は、1月からコンタクトセンターのシステム基盤(IP電話基盤・コンタクト履歴共通管理システム・業務アプリ)を統合し、共同利用を開始しました。今回のコンタクトセンターのシステム統合は、2013年度に予定されている基幹システムの統合に先駆けたものであり、統合によるシナジー効果の発揮とともに、お客さま対応力の向上や災害時のBCP対策としても期待されています。

#### フィリピン・ミンダナオ島台風被災者への義援金について(2月27日)

当社は、2011年12月に発生したフィリピン・ミンダナオ島台風被災者の支援を目的にグループ各社の社員から義援金を募り、2,464名の社員から約277万円が集まりました。また、災害時義援金マッチングギフト制度により、社員からの義援金額に対し同額を会社が拠出することで、総額約550万円の義援金を、フィリピン赤十字社などへ寄贈しました。

### (2) グループ各社

#### 国内事業

#### クラウドユーザー企業向け「クラウドプロテクター」の販売開始について(2月2日)

三井住友海上は、クラウドユーザー企業向け保険の新商品「クラウドプロテクター(クラウド特約付コンピュータ総合保険)」の販売を2月1日から開始しました。本商品は、同社が実施するクラウド事業者のリスク評価をもとに保険料を算出するもので、火災、地震、コンピュータウイルス、サイバー攻撃等によりクラウド化したデータが消失した場合の復旧費用や利益損失等を補償します。

## 東日本大震災対応におけるクラウド活用システムが

### 「Celent Model Insurer Award 2012」を受賞（2月3日）

三井住友海上は、米国のコンサルティング会社であるセレント社が主催する「Celent 2012 Insurance Innovation & Insight Day Featuring Celent's Model Insurer Summit and CIO Roundtable」において、「Celent Model Insurer Award 2012」を受賞しました。本賞の受賞は、東日本大震災によって保険契約が失効されたお客さまへ、返れい金のお支払いを漏れなく迅速に行うことを目的に、クラウドサービス上に構築した「失効契約管理システム」の開発が評価されたものです。

## 代理店向けの新研修コンテンツ「コンサルティングセールス研修」開発について（2月3日）

三井住友海上プライマリー生命は、代理店向けの新研修コンテンツ「コンサルティングセールス研修」を開発しました。この研修は、お客さまとの最初の接点から契約のクロージング、契約締結後のアフターフォローに至るまでの5つのプロセスで構成されており、心理学やマーケット理論をふんだんに盛り込んだ内容です。

## 新商品『しあわせ、ずっと』を発売（2月24日）

三井住友海上プライマリー生命は、4月2日より、円建終身移行特約付通貨選択利率更改型終身保険『しあわせ、ずっと』の販売を開始しました。『しあわせ、ずっと』は、日本円よりも比較的高い利率で運用できる「外貨建て運用」の終身保険に、円建てで運用資産を自動確保する「円建て資産自動確保」機能を組み合わせた業界初となる終身保険です。

## 2072年満期米ドル建劣後特約付社債の発行について（3月9日）

三井住友海上は、財務健全性の向上と、成長戦略をはじめとする各種施策遂行のための資本拡大を目的として、2072年満期米ドル建劣後特約付社債（利払繰延条項付）を13億米ドル発行しました。

## 会社役員賠償責任保険（D&O保険）定型プランを発売（3月28日）

あいおいニッセイ同和損保は、4月1日以降始期契約より、会社役員賠償責任保険（D&O保険）定型プランの販売を開始しました。従来D&O保険が普及していなかった非上場企業と、一般（公益）社団・財団法人を対象に、業種・特約・支払限度額等を定型化することで、簡易にご加入いただけるように設計した商品です。

## 保険金お支払いに伴うアンケート 回答者に謝礼を進呈（3月29日）

あいおいニッセイ同和損保は、2月1日より、保険金お支払い時のお客さまアンケートの回答者へ、抽選で図書カードの進呈を開始しました。ご契約時・事故対応時の双方で、より多くの「お客さまの声」を把握することを目的としています。今後も、お客さまの安心と満足の上に向けた貴重な財産として、さまざまな施策に活かしていきます。

## 通貨選択型個人年金保険に『外貨入金特約』を追加し、販売開始（3月30日）

三井住友海上プライマリー生命は、4月2日より、通貨選択型個人年金保険「アテナ」「モニターニュ」に『外貨入金特約』を新たに追加して販売を開始しました。この特約により、米ドルをお持ちのお客さまによる豪ドル建て契約のお申し込みや、豪ドルをお持ちのお客さまによる米ドル建て契約のお申し込みが可能となりました。

## **リスク関連事業**

## 国内初、「東日本大震災の教訓を踏まえたBCM有効性向上への提言」を公表（2月1日）

インターリスク総研ならびに伊藤忠テクノソリューションズをはじめとする24機関は、事業継続マネジメント（BCM）の観点から東日本大震災を総括し、今後の事業継続マネジメントシステムのあり方についての提言書をまとめました。本書では、BCMの有効性と実効性向上へ向けた課題を明示し、今後のあるべき姿について具体的な提言を行っています。

## 「東日本大震災から1年～企業のリスクマネジメントに求められたもの～」

### を発行（3月9日）

インターリスク総研は、過去1年間に発行した東日本大震災関連のリスクマネジメント情報を取りまとめ、冊子「東日本大震災から1年～企業のリスクマネジメントに求められたもの～」を発行しました。震災後に一躍注目を集めた企業の事業継続マネジメント（BCM）対策に光を当て、企業のBCMに新たに求められる要素を項目ごとに時系列で解説しています。

～企業が語るいきものがたり Part 5～

**企業の生物多様性に関するシンポジウムを開催（1月6日）**

三井住友海上は、2月23日に生物多様性に関するシンポジウム「企業が語るいきものがたりPart 5」を開催しました。当日は、2010年10月のCOP10で合意された「愛知目標」および「名古屋議定書」の現状や、今年10月にインド・ハイデラバードで開催されるCOP11に関する最新情報が紹介されました。

**復興支援チャリティコンサート「高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト」（1月16日）**

あいおいニッセイ同和損保は、3月19日に、仙台市で地域の皆さまをご招待し、復興支援チャリティコンサート「高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト」を開催しました。コンサートの開催にあたっては、同社の所有するザ・フェニックスホール（大阪市）で行われたチャリティコンサートのチケット売上が開催費用に当てられました。

ふっこうまい

**毎月11日に、「福幸米」を使用した震災復興支援メニューを提供（3月12日）**

三井住友海上は、震災後1年を契機として、東日本大震災で被災した水田の復興支援を目的に、すべての社員食堂で「福幸米」を使用したメニューの提供を開始しました。本活動は、毎月11日を「福幸米の日」と定めて、肥料・農薬5割減の「福幸米（ササニシキ）」のご飯を販売するもので、米1袋につき200円が復興のための寄付となります。

**～損保初～「2012 J-Win ダイバーシティ・アワード」敢闘賞を受賞（3月15日）**

あいおいニッセイ同和損保は、3月2日に、NPO法人 ジャパン・ウィメンズ・イノベティブ・ネットワークが主催する「2012 J-Win ダイバーシティ・アワード」において、「敢闘賞」を受賞しました。本アワードは、企業におけるダイバーシティ&インクルージョン推進の一步として、“女性の採用・能力開発・登用に革新的なアプローチで積極的に取り組み、ビジネスにつながる成果を挙げている企業”を顕彰するもので、損害保険会社として初の受賞となりました。

**『むじころう』『むじこりん』を使ったFacebook公式ファンページ開設（3月27日）**

三井ダイレクト損保は、3月27日より『Facebook公式ファンページ』を開設しました。本ページには、事故のないクルマ社会を目指す、「MUJICOLOGY！プロジェクト」の情報発信拠点である「MUJICOLOGY！研究所」で生まれたキャラクター『むじころう』『むじこりん』が登場します。

**～運転マナー向上～ゆずりあいの心を育む『ムジコロジータン』（3月28日）**

三井ダイレクト損保は、2011年5月に開始した「MUJICOLOGY！プロジェクト」の一環として、新たに『ムジコロジータン』を制作しました。今後は、春・秋の交通安全運動などのイベントやMUJICOLOGY！研究所サイト等を通じて『ムジコロジータン』を広くPRしていきます。

**女子柔道部**

・「JOCシンボルアスリート」に選出（1月10日）

三井住友海上女子柔道部に所属する中村美里選手が、公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）からJOCシンボルアスリートに選出されました。中村選手は今後、日本スポーツ界の代表として、JOCによるオリンピックムーブメント盛り上げのための取り組みに協力していきます。

・「2012ワールドマスタース・アルマティ」（1月14日）

カザフスタン・アルマティで開催された「2012ワールドマスタース・アルマティ」に三井住友海上から2名の選手が日本代表として出場し、上野順恵選手（63kg級）が優勝、中村美里選手（52kg級）が準優勝しました。